

試合No.	C4	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会								
		期 日	平成28年 2月 6日(土)			会 場		小田原アリーナ			
女子1回戦		主 審	岩本 涼子(神)			副 審		関野 翔太(神)			
		チー ム 名			1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
		県立荊崎(山梨)			21	26	17	19			83
		桐生市立商業(群馬)			8	10	12	10			40

県立荊崎(山梨)																		
氏名	スターティング NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
長田 紘佳	* 4	3	0	1	0%	1	2	50%	1	2	50%	0	2	3	1	0	5	3
若林 実咲	5																	
田中 留莉	* 6	16	3	7	43%	3	8	38%	1	4	25%	0	3	3	0	0	3	0
宮垣 里帆	* 7	25	3	5	60%	7	8	88%	2	4	50%	1	6	0	2	0	2	0
石川 明日香	* 8	22	1	2	50%	9	21	43%	1	1	100%	1	9	1	1	3	1	0
仲沢 里佳	9																	
古屋 志帆	10	1	0	2	0%	0	2	0%	1	2	50%	0	1	2	0	0	0	2
功刀 憂珠	11																	
高橋 なつき	12																	
平山 寧々	13	4	0	4	0%	2	2	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	1
森本 あかり	14	2	0	1	0%	1	1	100%	0	0		1	0	0	0	0	0	0
山口 あすか	* 15	8	0	0		4	11	36%	0	0		1	2	0	1	0	1	1
小坂 彩乃	16	2	0	0		1	2	50%	0	0		2	1	0	0	0	1	0
コーチ	逆瀬川慶文																	
合計		83	7	22	32%	28	57	49%	6	13	46%	6	24	9	5	3	13	7

桐生市立商業(群馬)																			
氏 名	スター ター	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
				成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
山野井 美優	*	4	25	2	6	33%	9	25	36%	1	1	100%	7	6	1	2	0	4	4
生方 穂乃香		5	0	0	0		0	0		0	0		1	1	1	0	0	1	1
小沢 真琴	*	6	0	0	0		0	9	0%	0	0		5	7	0	0	1	6	2
米山 和佳		7	0	0	0		0	0		0	0		0	0	1	0	0	0	0
郷 春花		8	0	0	2	0%	0	0		0	0		0	0	0	1	0	1	1
原國 英海	*	9	0	0	2	0%	0	4	0%	0	0		0	3	0	0	1	1	1
志塚 舞	*	10	4	0	0		2	7	29%	0	0		1	4	0	0	0	3	1
荒井 沙弥	*	11	5	1	7	14%	1	5	20%	0	0		1	2	2	2	1	1	2
森 明日香		12																	
石橋 莉子		13																	
福田 雅		14	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
中村 汐里		15																	
川和 婆季		16	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	0	0	0	0	1	1
廣田 萌		17	6	1	6	17%	1	6	17%	1	2	50%	1	1	1	1	0	2	1
福島 由唯		18																	
コーチ	西條 佑治																		
合 計			40	4	23	17%	13	59	22%	2	3	67%	16	24	6	6	3	20	14

戦評

1P 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。荊崎は長身センター⑧を起点に、桐生商業はスクリーンプレーからドライブを起点にオフェンスを組み立てる。荊崎はインサイドにヘルプをした桐生商業のディフェンスをインサイドからのアシストで崩し、シュート率の上がらない桐生市商業をリードする。
2P 桐生商業は果敢なドライブでゴールを攻めるが、荊崎にブロックショットされ得点が決まらず、荊崎は⑥を中心に1対1、速攻と得点を重ねリードを広げる。桐生商業はタイムアウトをとり、激しいディフェンス、④の1対1で流れを変えようとするが、荊崎は落ち着いてスクリーンプレーからの合わせ、リバウンドシュート、フリースローで加点する。
3P 桐生商業は④のスピードあふれるドライブで攻めるがシュートが決まらず、リバウンドを制す荊崎との点差は縮まらない。荊崎は⑧のハイポストでのキープ力を生かし得点を重ねる。その後、荊崎もミスが増え、桐生商業がスローインからのスクリーンプレーなどで加点するが、ゴール下の安定している荊崎優位は変わらない。
4P このピリオドは桐生商業⑩の個人技で先制するが、すぐに荊崎⑧が外からのシュートを入れ返す。桐生商業はナンバープレーを使い、④のジャンプシュートで得点するが、メンバーを使いながら運動量の落ちない荊崎は速攻からレイアップを連続して決め、試合を決める。一試合を通じて、荊崎④のゲームコントロールは落ち着いており、素晴らしかった。